



常陸太田市 議会だより

Hitachiota City Council

No. **183**

令和8年2月

常陸太田市議会



二十歳のつどい バンジージャンプ

主な内容

- 議案賛否一覧 P 2～3
- 議案質疑 P 4
- 一般質問 P 5～8
- 常任委員会審査 P 9～10
- 陳情・議員提案審査結果等 P 11
- 議会報告・意見交換会 P 12～13
- 議会トピックス P 14～15

第4回市議会定例会



上：高星 勝幸 議長
下：藤田 謙二 市長

提案理由説明（要旨）

第4回市議会定例会（12月2日から16日）の提出議案は、専決処分報告3件、条例の一部改正5件、関係条例の整理1件、条例の廃止1件、公の施設に係る指定管理者の指定6件、町の区域及び名称の変更1件、令和7年度補正予算6件、合わせて23件です。

なお、補正予算につきましては、令和8年4月からの事業開始に当たり、令和7年度中に契約をすすめる必要があります。

す事業の債務負担行為の設定、令和6年度の生活保護に係る国庫支出金等の精算に伴う返還金を計上しています。

また、会期中に、人事院勧告に基づく国に準じた措置等に係る条例の一部改正及びこれに伴う補正予算の追加提案、並びに、国会審議の状況によりましては、国の令和7年度補正予算（第1号）に伴う対応を検討していく予定です。

第4回定例会 議案賛否一覽

△全員賛成で可決した議案▽

| 議案名 | | 付託委員会 | 議決結果 |
|--------|---|-------|------|
| 議案第87号 | 常陸太田市市税条例の一部改正について | 総務 | 原案可決 |
| 議案第88号 | 常陸太田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第89号 | 常陸太田市霊園墓地の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第90号 | 常陸太田市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置と地域環境の保全に関する条例の一部改正について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第91号 | 常陸太田市火災予防条例の一部改正について | 総務 | 原案可決 |
| 議案第92号 | 児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第93号 | 常陸太田市西山研修所の設置及び管理に関する条例の廃止について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第94号 | 常陸太田市子育て支援施設及び山吹運動公園親水広場に係る指定管理者の指定について | 文教民生 | 原案可決 |

| | | 議 案 名 | |
|----------|------------------------------------|-------|------|
| 議員派遣について | | | |
| 議員提案第5号 | 常陸太田市ハラスメント防止条例の制定について | 本会議 | 原案可決 |
| 議員提案第4号 | 常陸太田市政治倫理条例の一部改正について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第111号 | 令和7年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第110号 | 令和7年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第109号 | 令和7年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第108号 | 令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第4号)について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第107号 | 常陸太田市職員の給与に関する条例等の一部改正について | 本会議 | 原案可決 |
| 議案第106号 | 令和7年度常陸太田市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第105号 | 令和7年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第104号 | 令和7年度常陸太田市水道事業会計補正予算(第1号)について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第103号 | 令和7年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第2号)について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第102号 | 令和7年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第101号 | 令和7年度常陸太田市一般会計補正予算(第3号)について | 総務 | 原案可決 |
| 議案第100号 | 町の区域及び名称の変更について | 総務 | 原案可決 |
| 議案第99号 | 常陸太田市総合交流ターミナルに係る指定管理者の指定について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第98号 | 常陸太田市物産センターこめ工房に係る指定管理者の指定について | 産業建設 | 原案可決 |
| 議案第97号 | 常陸太田市天下野診療所に係る指定管理者の指定について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第96号 | 常陸太田市総合福祉会館に係る指定管理者の指定について | 文教民生 | 原案可決 |
| 議案第95号 | 常陸太田市高齢者生産活動センターに係る指定管理者の指定について | 文教民生 | 原案可決 |
| | | 付託委員会 | 議決結果 |

議 案 質 疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけでは分からないことを質問する行為のことです。

議案第 91 号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について

(林野火災注意報等の的確な発令等により、林野火災予防の実効性を高めることについて、総務省消防庁から通知があったことに伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問 1

火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為（たき火を含む。）について、「たき火」を条例に書き込んだ背景と概念について伺いたい。

答 1

背景については、火災の原因の多くがたき火など人為的要因によるものであり、総務省消防庁からの通知により、当該行為にたき火を明確にすることで、火災予防意識の醸成を図る。

また、概念については、火を使用する設備器具を用いないで行う行為であり、例として、地面に集積して焼却する行為、ドラム缶やブロック囲みを利用しての焼却、田畑の野焼き、どんど焼きなどの風俗習慣行事もたき火に該当するとされ、バーベキューコンロや調理用器具での火の使用については、たき火に該当しない。

議案第 94 号 常陸太田市子育て支援施設及び山吹運動公園親水広場に係る指定管理者の指定について

(地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 6 項の規定により、常陸太田市子育て支援施設及び山吹運動公園親水広場の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの)

問 1

公募で新しく選定された（一社）まちのこ団について、選定委員会での審査基準 5 点を総合的にどのように評価したのか伺いたい。

答 1

（一社）まちのこ団は、令和 4 年に法人を設立し、子育て支援を主とした事業を開始しており、他自治体における既存の受託事業の実績等に加え、令和 7 年 3 月より新規事業として鹿島アントラーズの試合会場でのキッズパーク内一部エリアの運営を受託するなど積極的な姿勢がみられる。

また、事業提案については、子育て支援施設「じょうづるはうす」の設置目的である保護者への育児支援事業の実施に加え、「親子工作ワークショップ」など未就学児や小学校低学年児童が親子で参加できる事業の実施など、施設の効用が最大限に発揮される提案がされている。

さらには、現在のスタッフの多くを継続して採用予定としており、これまでのサービスを維持しつつ、新たな視点での運営が期待できるものと評価された。

議案第 101 号 令和 7 年度常陸太田市一般会計補正予算（第 3 号）について

(歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 9,170 万 2 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 302 億 5,594 万 6 千円とするもの)

問 1

民生費の生活保護システム改修委託料（633 千円）の内容について伺いたい。

答 1

市では毎月、国の「生活保護データシステム」に被保護世帯の受給状況の情報を送信している。今回、国の「生活保護データシステム」の調査項目の中の「介護療養型医療施設」を削除する改修がされることに伴い、本市の「生活保護基幹業務システム」も同様に改修するものである。

答1

保健福祉部長 ケアラー・ヤングケアラーの支援が

ケアを行っている人々の中で支援の必要な方が社会的に見えにくい状況や相談をためらったり孤立したりするケースがあり、地域におけるケアラー・ヤングケアラーの把握から支援につなぐ仕組みが重要になってくる。そこで、現在における本市のケアラー支援の取り組みの状況について伺いたい。

問1



郡司 哲也 議員

ケアを行っている人々の中で支援の必要な方が社会的に見えにくい状況や相談をためらったり孤立したりするケースがあり、地域におけるケアラー・ヤングケアラーの把握から支援につなぐ仕組みが重要になってくる。そこで、現在における本市のケアラー支援の取り組みの状況について伺いたい。

問1



片根 志雄 議員

本市は新総合体育館を活用した今後の交流人口拡大に向けた施策をどのように考えているのか伺いたい。

答1

教育部長 これまで本市では見ることができなかったバレーボールのSVリーグ、バスケットボールのWリーグ、卓球のTリーグ、バドミントンのS/Jリーグといった、国内最高峰のトップレベル公式大会を積極的に誘致するとともに、バスケット

問2 問1

新総合体育館とスポーツツーリズムの連携 「地域スポーツコミッション」創設の提案

トボールBリーグのプレシーズンマッチやアマチュアスポーツの関東大会さらにはインターハイなどの大会開催を目指し、主催者や関係団体に対し、新総合体育館の魅力を積極的にPRし、会場地として選ばれるよう働きかけていく。あわせて、スポーツ以外の分野では、大相撲巡業や音楽イベント、eスポーツ大会など、多岐にわたるイベントを通じて、市民だけでなく県内外から選手や観客などを誘致し、交流人口の拡大を目指す

問2

パッケージ観光の推進や 体育館管理運営者や地域の宿泊・飲食事業者、体験事業者などが参画した「地域スポーツコミッション」の創設について伺いたい。

答2

商工観光部長 スポーツ観戦に加え、竜神峡でのバンジージャンプなどのスポーツ資源、西山御殿などの歴史・文化

資源、常陸秋そばや果樹などの特産品を味わってもらう食体験などを組み合わせたモデルプランを提供していく。成功の鍵は、体育館利用者と地域事業者を結びつけるプラットフォームである。管理運営者や地域の宿泊・飲食事業者・体験事業者、さらには市観光物産協会や行政などが参画した新たなプラットフォームの仕組みづくりについて、調査研究を進めていく。

問2 問1

ケアラー・ヤングケアラー支援について 自主防犯活動の取り組みの支援を

必要なケースは、福祉部門、教育部門、その他の関係機関が連携し、実務者会議を随時開催し、学校、地域包括支援センター、こども家庭センター、障害者基幹相談支援センターなどの関係機関が情報共有することで、家庭の過度な介護や世話を担っている状況の早期把握に努め、ワンストップで対応できる相談体制を整えており、重層的な支援の提供ができるように努めている。ケアラーが孤立することのないように、個々の状況に

じた支援の体制づくりを進めていく。

問2

市の公共施設の金属類の盗難や空き家の空き巣など、地域の不安の声が集まってきている。そこで、本市の今後の防犯対策の取り組みについて伺いたい。

答2

市民生活部長 市の公共施設については、再度全施設の防犯設備の必要性を確認

し、防犯カメラやマンホールロク等の措置をしていく。地域の防犯設備の強化として、防犯灯の新規設置を進めていくとともに、警察署と協議の上、交差点等における防犯カメラの拡充を検討していく。また、各地域の自警団や警察署と協力し、パトロール体制の強化や情報共有を図るとともに、広報啓発活動により市民の防犯意識の向上に努めている。

【郡司 哲也 議員 質問事項】 ●ケアラー・ヤングケアラー支援について ●安全安心なまちづくりについて ●鳥獣被害対策について



【片根 志雄 議員 質問事項】 ●新総合体育館とスポーツツーリズムの連携について





森山 一政
議員

問1 定住者の人口を増やすうえで、長期居住者に住宅を譲渡する方策についてと、住宅を建築する方策に対してどのような補助制度があるのか伺いたい。

問2 定住者の人口を増加させていく方策について市所有バスの運営をどのようにしていくのか

問1 定住者の人口を増やすうえで、長期居住者に住宅を譲渡する方策についてと、住宅を建築する方策に対してどのような補助制度があるのか伺いたい。

答1 企画部長 市は、現在、移住・定住対策として、新婚世帯や子育て世帯等を対象とした住宅取得や増改築等の費用助成、子育て世帯を対象とした移住者向け定住促進住宅の整備、里美白幡台団地市有宅地の無償譲渡、

空き家・空き地バンク制度による空き家活用などの各種施策を実施し推進を図っている。
一部の自治体などが実施している、自治体が整備した住宅への長期移住者に当該住宅を譲渡する制度の導入については、新たに、対象住宅の整備を目的とする土地の確保が必要なことなどから、現時点において実施する予定はないが、他自治体の事例等について、引き続き調査・研究をしていく。
また、住宅を建築する方に対し

ての補助制度については、現在、新婚世帯や子育て世帯等に対して、住宅取得時に最大90万円の助成、増改築時に最大20万円の助成、市産材を2分1以上使用した木造住宅を新築する方に最大60万円の助成、住宅用太陽光発電設備を設置した方に最大10万円の補助、一定規模の賃貸住宅の建築に対して建築費用の10%の補助などを実施し、移住・定住の促進を図っている。

問2 市所有のバスの運営をどのようにしていくのか伺いたい。

答2 総務部長 市所有で市が運営、民間借上げで民間が運営、民間リースで市が運営、民間リースで民間が運営など検討したが、しばらくの間は現状の運行体制で運行していく。



宇野 隆子
議員

問1 本市では広域避難計画の実効性を高めていくとして原子力災害広域避難訓練の計画全般を民間に委託し実施している。10月25日に4回目の訓練が実施された。参加者から「訓練は日程や車の台数などが予め決められた中で行われ、突然起こった原発事故では、交通の渋滞、スクリーニング時の混乱など、市民全員が安全に避難できないことを逆に実感した」との感想が私に寄せられ

問2 住民参加の原子力災害広域避難訓練を問う
学校給食費が新年度から無償化に

問1 本市では広域避難計画の実効性を高めていくとして原子力災害広域避難訓練の計画全般を民間に委託し実施している。10月25日に4回目の訓練が実施された。参加者から「訓練は日程や車の台数などが予め決められた中で行われ、突然起こった原発事故では、交通の渋滞、スクリーニング時の混乱など、市民全員が安全に避難できないことを逆に実感した」との感想が私に寄せられ

た。原発事故は他の災害とは異質であり、大地震などの複合災害や大量の車両移動での混乱、移動困難な市民が取り残されることなど、全市民が安全に避難できず、一番の安全は東海第二原発を再稼働しないことである。実施した訓練について所見を伺いたい。

答1 総務部長 訓練を実施することで、年々原子力災害についての啓発が進められてお

り、引き続き、広域避難計画の実効性の向上を目的に実施していく。

問2 子どもたちの健全な発達を助け、保護者負担を解消することを求めて、小中学校の給食の無償化を長年取り上げてきた。そして、2016年4月から学校給食費の半額助成が県内に先駆けて実施されてきた。私は6月議会で物価高騰が続く中、藤田新市長が公約に掲げた学校給食費の

無償化の見通しについて質問した。市長は「来年度の予算編成までに、国の動向を注視しながらしっかりと早期実現に向けて進めていきたい」と答弁されたが、新年度からの小中学校給食費無償化の早期実施について伺いたい。

答2 市長 小中学校の給食費の無償化は、令和8年度からの実施に向けて必要な調整を進めている。

- 【宇野 隆子 議員 質問事項】
- 東海第二原発の再稼働問題について
 - 高齢者の公共交通の充実について
 - 小・中学校給食費の無償化について
 - 給付型奨学金制度について
 - 国民健康保険税の負担軽減について



- 【森山 一政 議員 質問事項】
- 第三セクターの合併について
 - 定住者の人口を増加させていく方策について
 - 市所有バスの運営について





鴨志田 悟
議員

問1 オオキンケイギクなどの特定外来植物の駆除を
防犯カメラ等の整備をし犯罪のないまちづくりに

問1 茨城県では県内に定着している特定外来植物を6種とし、その対策を推進している。その中でもオオキンケイギクは北米原産で、あまりの強靱さのため一度定着すると在来の野草を駆逐し、辺りの景観を一変させてしまう性質がある。市内でも道路沿いや法面にも見られる。次年度のオオキンケイギクなどの特定外来植物の対策について伺いたい。

答1 市民生活部長 特定外来

植物は繁殖力が非常に強く、在来種を撲滅してしまうほどの影響があると認識している。そこで、ホームページや広報紙での注意喚起だけでなく、SNSなども効果的に活用し、市民の目に留まるような周知方法も検討し、さらに繁茂が拡大する前に植生状況の確認のパトロールをし、植生土地の管理者に説明と除去の依頼をするなどの対応に努める。

問2 急速な少子高齢化が進展している中、人と人とのつながりが希薄になるなどとして地域の犯罪を防止する力が低下しつつあるといわれている。また、特殊詐欺も国内では著しく増加している。そこで、常陸太田市が目指す犯罪のないまちづくりについて伺いたい。

答2 市民生活部長 交差点等における防犯カメラの拡充については、専門性を有する警

察署と協議を行いながら検討していく。また、地域安全活動については、各地区にある18団体の自警団等と太田警察署が協力しながらパトロール体制の強化や情報共有を図り、連携を強化している。さらに、市と太田警察署が連携し、各公民館において高齢者等を対象に防犯講話を行うなど、地域団体と関係機関が防犯対策に協力して取り組んでいる。



深谷 渉
議員

問1 シティプロモーションの現状と方向性を問う
問2 高齢者の見守り活動を条例の制定により後押しを

問1 本市のシティプロモーションについて、目的やターゲットが十分に整理・共有されているとは言い難い。現在の取り組み状況と、第7次総合計画の策定を見据え、今後どのような基本方針と推進体制で取り組むのか、所見を伺いたい。

答1 政策推進室理事 現在、本市のシティプロモーションは、各課が事業や施策ごとに情報発信を行い、広報広聴課が全体を調整しながら、重点事業等

を整理し推進している。広報紙やホームページ、行政情報アプリをはじめ、各分野ではSNSやマスメディアを活用し、目的や対象に応じた発信を実施しており、アクセス数や登録者数の増加など一定の成果も見られる。今後は、職員の広報意識とスキル向上、市アンバサダー制度の検討など体制強化を図るとともに、市民参加型企画や教育分野の取り組みを通じてシビックプライドの醸成を推進していく。

問2 高齢者の見守り活動に対して、現在は明確な条例上の根拠がないため、対象者情報の共有や、関係事業者との協定の位置付けなどに課題がある。特に、名簿の整備や個人情報取扱いの根拠が不可欠と考えるが、関係条例の制定についての所見を伺いたい。

答2 保健福祉部長 現在、民生委員等による訪問活動のほか、民間事業者との協定により、見守り体制を構築し要支援高齢者の早期発見につなげている。一方で、家族はもとより、行政と地域、民間事業者等による重層的な見守り活動の重要性が増しており、条例制定については、「(仮称)長生き上手条例」の中で検討していきたい。

【深谷 渉 議員 質問事項】
●シティプロモーションについて
●高齢者の見守りについて

【鴨志田 悟 議員 質問事項】
●特定外来植物の駆除について
●認証特産品の販路拡大について
●犯罪のないまちづくりについて



高木 将
議員

問1-1 太田小学校周辺整備計画で小学校外周に遊歩道の設置を計画しているが、この遊歩道を散策する方々の話し声やカメラを持つての行動などで児童を取り巻く環境が大きく変化すること、また、近年の学校内における学校関係者を含む犯罪の防止・抑止対策などの安心安全対策について伺いたい。

答1-1 教育部長 工事期間中は市内外から太田小学校周辺を訪れる

問1-2 この計画策定時、子ども目線・ご家族目線に立った検討をしたのかについて伺いたい。

答1-2 教育部長 整備にあたっては、様々な問題が発生している状況を考慮し、子ども目線・ご家族目線を大事にして、安心安全が確保できるよう検討する。

問1 児童生徒の安心安全の確保を
問2 利便性の高い公共交通に向けた今後の計画は

ることが見込まれるため、安全対策については十分に配慮する。

問2 市街地の一部区間で自動運転EVバス実証実験が実施中で、今後は完全無人運転とされるレベル4での実験となる。

他には、通常の路線バスが運行されており、予約型乗合タクシーの利用も拡大されている。

しかし、バスの場合は乗降する停留所までの距離の課題、また、予約型乗合タクシーの場合は運賃の負担などを考慮すると、それぞれに課題がある。

性の高い公共交通のあり方を検討すべきと考えるが、今後の計画について伺いたい。

答2 企画部長 ライドシェア導入の可能性など新たな取り組みへの検討を進めながら、随時、再編や見直しを行い、市民にとって利便性・効率性の高い、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。



平山 晶邦
議員

問1 空き家対策は、民法上の私有権との問題の兼ね合いもあり、その対策が難しいことは理解しているが、超高齢化社会を迎えている常陸太田市において、空き家対策を放置しておくことは市行政として許されない、本市が積極的に空き家対策を進めていく必要があると考える。町内毎に空き家数を把握するシステムの構築や防災・減災の立場からの空き家解体に対する支援や空き家に

対するワンストップで相談できる行政窓口の設置等が必要であると考え、今後の空き家対策のご所見について伺いたい。

問1 空き家対策の取り組みについて

空き家等に対して「空家等の推進に関する特別措置法」に基づく助言指導等を実施しており、令和6年は58件の相談に対して24件の改善がなされた。また、「空き家・空き地バンク」制度を創設し、240件の登録がなされ、182件の物件が成約となり、有効活用されている。空き家活用に対する助成金制度は、「空き家財道具等処分助成」、「空き家リフォーム工事費用助成」を行っている。

答1 市民生活部長 総務省統計局の令和5年の結果では、本市の空き家は3370件で、今後増加傾向にあるが、町会毎の状況分析には至っていない。

市では、良好な住環境の確保を目的に適正管理が行われていない

今後の空き家対策は、市空き家等対策計画に基づき、空き家の発生抑制・有効活用・適正管理・特定空家等への対応等、段階に応じて必要な情報提供や施策の推進にあたり法的な手続きを着実に実行していくための方策を検討する。

今後の空き家の増加が見込まれる中では、積極的な空き家対策を進めるために総合的な相談窓口の設置を協議する。

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 空き家対策について
- 公園行政について



【高木 将 議員 質問事項】

- 公共交通のあり方について
- 市道0139号線について
- 児童生徒の安心安全について
- クマ対策について ● 東部地区について



総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正2件、町の区域及び名称の変更1件、補正予算1件、合計4件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第91号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について
 (林野火災注意報等の的確な発令等により、林野火災予防の実効性を高めることについて、総務省消防庁から通知があったことに伴い、本条例の一部改正を行うもの)

問 市民への周知方法と改正後の消防の体制について伺いたい。

答 周知方法については、市ホームページや広報紙への掲載、消防団員への周知、常陸太田市地区町会長協議会連合会への説明、そして、回覧板によるチラシの回覧などを予定しており、今後、町会長会議等での説明を行い、周知を図る。

また、消防の体制については、これまで年間約100件弱の届出があり、改正後、届出が増えることは想定しており、消防団との連携による一層の火災予防意識の醸成を図る。

議案第100号 町の区域及び名称の変更について
 (日立都市計画事業常陸太田市東部土地区画整理事業の換地処分に伴い、町の区域及び名称を変更するもの)

問 市民への周知方法や影響を受ける対象者数とその方々の今後の手続きについて伺いたい。

答 市民への周知方法については、1月から2月に市ホームページや広報紙で周知するとともに、直接影響がある東部地区進出企業等へは個別に周知をする予定で、今後、換地処分公告の日程が決定した後に改めて市ホームページや広報紙で周知を図る。

また、影響を受ける対象者数とその方々の今後の手続きについては、東部地区への進出企業等の24社、地区外を含む一般の地権者等の90名を対象で、進出企業等においては商業登記簿の変更申請、官公庁への変更届等の手続きが想定され、住所を有する地権者等においては電気・ガスなどの公共料金、銀行口座、運転免許証等の住所変更の手続きが想定される。

【委員会構成】

委員長 深谷 渉
 副委員長 鴨志田 悟
 委員 茅根 猛、深谷 秀峰、平山 晶邦、郡司 哲也

産業建設委員会

産業建設委員会では、指定管理者の指定2件、補正予算3件、合計5件の審査を行い、付託された5議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第98号 常陸太田市物産センターこめ工房に係る指定管理者の指定について
 (地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第6項の規定により、常陸太田市物産センターこめ工房の指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるもの)

問 常陸太田市物産センターこめ工房の収支状況及び指定管理料の積算根拠等及び今後の改善計画について伺いたい。

答 過去3年間の収支がマイナスで推移しているため、前年度の実績や人件費上昇分、物価高騰を反映した収支・支出計画を策定したうえで指定管理料の算定を行った。

今後は、イベント開催やレストランメニューの改善等により、売上向上の促進を図る。

▼付託案件以外の質疑

問 水道スマートメーターに関するこれまでの検討状況と、将来的な導入に向けた調査状況について伺いたい。

答 令和5年度から一部の市施設において3年間の試験運用を行い、検針効率化や漏水の早期発見などの効果を検証している。導入には高額な費用や通信費等の課題があるため、先進事例を参考に費用対効果を慎重に検討していく。

問 はたそめ団地に関する下水道工事の進捗状況及び完成時期、四季の丘はたそめ自治会から借用の汚水処理施設の費用負担状況について伺いたい。

答 下水道工事は7工区のうち4工区が完了し、現在は残る3工区を施工中である。令和8年3月までに全工事を完了し、年度内の供用開始を予定している。

また、四季の丘はたそめ自治会から借用の汚水処理施設は、令和4年5月から使用しており、令和7年11月までの費用負担は総額約5912万7千円、月平均約140万7千円となっている。

【委員会構成】

委員長 森山 一政
 副委員長 成井小太郎
 委員 高星 勝幸、益子 慎哉、石川 晶大

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正3件、条例の整理1件、条例の廃止1件、指定管理者の指定4件、補正予算2件、合計11件の審査を行い、付託された11議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第89号 常陸太田市霊園墓地の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(合葬墓地の整備に伴い必要な事項を定めること及び市外利用者における料金体系の見直しをするため、本条例の一部改正を行うもの)

問 第25条「使用者の資格」の第1項第2号において「満65歳以上の者」となった理由について伺いたい。

答 第25条第1項第2号は、生前予約の規定としており、一般的には高齢者の方が対象になると想定されていることから、前期高齢者と定義されている65歳を生前予約の下限とした。

議案第93号 常陸太田市西山研修所の設置及び管理に関する条例の廃止について

(常陸太田市西山研修所を用途廃止することに伴い、本条例を廃止するもの)

問 廃止に至る経緯として、市民や利用団体への説明、意見聴取はどのように行われ、どのような意見があがってきたのか伺いたい。

答 当該施設を廃止する主な理由は、施設の老朽化が大きいところであり、市の公共施設再配置計画において廃止の方針となっている。そのうえで、事前の市民への説明については特段行っていないものの、令和7年4月16日に用途廃止の方針にあることが新聞に報じられたとともに、西山研修所のホームページ及び施設の入口への掲示により廃止の周知を図ってきた。また、主な利用団体については、個別に説明するなどして廃止の方針を伝えてきたところである。

併せて、意見の把握という意味で、文書による存続要望が1件寄せられている。

【委員会構成】

委員長 小室 信隆
副委員長 諏訪 一則
委員 高木 将
委員 菊池 勝美
委員 宇野 隆子
委員 片根 志雄

親子自然探索サークル実行委員会との対話集会を開催しました
～文教民生委員会～

11月13日、文教民生委員会において、市親子自然探索サークル実行委員会との対話集会を開催しました。6名の会員さんにご出席いただき、「常陸太田の自然教育がつなぐまちづくり」をテーマに、川松実行委員長によるサークル活動の紹介のあと意見交換を行いました。

33年という長きにわたり活動が続いてきた背景には、実行委員の方の継続的な工夫や努力、自身も楽しむという思いが伝わり、地域の自然を生かした教育の可能性を改めて実感した場となりました。初回から活動している実行委員や、昔に保護者として参加した文教民生委員もいるなど、親子自然探索サークルは「自然体験の場」と同時に、「地域を学び、家族の絆を育む場」であり、さらに「地域教育を支える重要な資源」であることを強く感じました。

実行委員の皆様から出た意見は、委員会活動の参考にさせていただき、今後も身近な議会を目指し取り組んでまいります。



令和7年第4回市議会定例会陳情・議員提案審査結果

陳 情

| 件 名 | 提 出 者 | 結 果 |
|--|---------------------------------------|-----|
| 【陳情第2号】 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情 | 一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章 | 報 告 |

議員提案

| 件 名 | 提 出 者 | 結 果 |
|--|--|------|
| 【議員提案第4号】 常陸太田市政治倫理条例の一部改正について | 提出者 益子 慎哉 賛成者 深谷 涉 宇野 隆子 平山 晶邦 菊池 勝美 小室 信隆 郡司 哲也 石川 晶大 | 原案可決 |
| 【議員提案第5号】 常陸太田市ハラスメント防止条例の制定について | 提出者 深谷 涉 賛成者 宇野 隆子 高木 将 鴨志田 悟 片根 志雄 | 原案可決 |

議会について教えて

シリーズ⑭

議 員 提 案 に つ い て

第4回定例会では2件の議員提案が提出され、いずれも原案可決されました。第3回定例会でも3件の議員提案が提出され、すべて原案可決されています。そこで、今回は「議員提案」について解説します。

市議会では、市長だけでなく議員等も議案を提出できます。これを「議員提案」といいます。

議員が議案を提出する場合は、地方自治法第112条に基づき、「議員定数の12分の1以上の賛成」が必要です。一定数の賛成を得て、初めて正式な議案となります。

また、地方自治法第109条により、「常任委員会」から提案することもできます。常任委員会は、分野別に設置された議会の専門委員会で、自分の担当分野に関する議案を提出できます。

ただし、「予算」に関する議案は市長のみが提出でき、議員や常任委員会から提案することはできません。

第4回定例会では、政治倫理条例調査特別委員会の益子慎哉委員長と議会改革推進会議の深谷渉副委員長（ハラスメント防止条例の制定検討グループ長）から下記の議員提案があり、採決の結果、原案可決されました。



政治倫理条例調査特別委員会
委員長 益子 慎哉



議会改革推進会議
副委員長 深谷 渉

| | 提案名 | 提案の概要 |
|-------------|------------------------|--|
| 議員提案 第4号 | 常陸太田市政治倫理条例の一部改正について | <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント及び情報発信に関する規定を新設 ・市から補助または助成等を受けている団体等への兼業の範囲を新設 ・市が行う契約に関する遵守事項を改正 |
| 議員提案 第5号 | 常陸太田市ハラスメント防止条例の制定について | <ul style="list-style-type: none"> ・特別職・職員・議員が互いの尊厳と人権を尊重し、安心して職務に専念できる職場環境を確立することで市政への信頼向上を図ることを目的とした条例 ・本条例の特徴は大きく3点あり、①対象を職員のみならず、特別職や市議会議員まで広く及ぼしている点、②相談・対応体制の充実、③ハラスメントの事実が確認された場合の対応を明確に定めている点の3つが挙げられる |

常陸太田市政治倫理条例の一部改正については令和8年4月1日から施行され、常陸太田市ハラスメント防止条例の制定については公布の日（令和7年12月16日）から施行されます。

議会報告・意見交換会

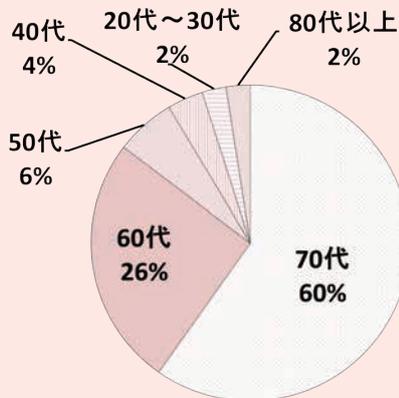
4地区で市民の皆さんの声を聴きました



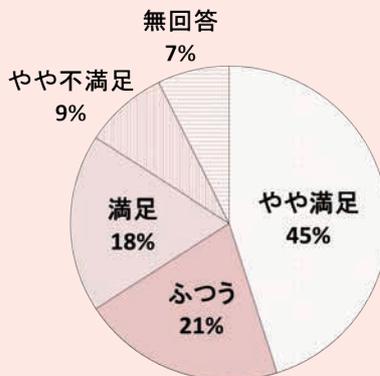
市議会では、10月30日・31日、11月4日・5日の4日間、市内4地区で市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催し、延べ90人の市民の皆さんにご参加いただきました。今年度は「環境にやさしいまちづくり ～ごみ減量化に向けて～」をテーマに意見交換を行い、家庭や地域で行っているごみを減らすための工夫などについて、多くのご意見をいただきました。いただいたご意見は、議員で共有し、議会活動に活かしてまいります。

アンケートの結果より

あなたの年齢は？

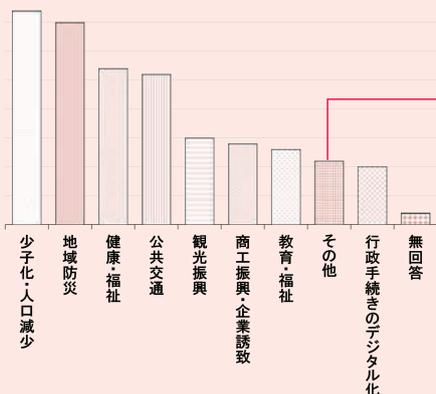


議会報告・意見交換会はどうでしたか？



多くの方にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見が聴けて嬉しすぎ！

どのようなテーマに関心がありますか？



その他の意見として…

- ・議会改革の推進
- ・市としての方向性の開示
- ・水郡線
- ・空き家対策
- ・農林業振興
- ・耕作放棄地をどうするか
- ・環境にやさしいまちづくり
- ・テーマを設定せず、昨年のように大きなテーマ



常陸太田地区



- ・買い物をする際、割り箸をもらわずに家にある箸を使用したり、有料のレジ袋はもらわずにマイバックを持参するなど、家に持ち帰るものを少なくするよう意識している。
- ・家庭でできた堆肥を引き取ってくれるような仕組みづくりができるとよいのではないか。
- ・スーパーに資源ごみを出すとポイントがもらえるため、市でも資源ごみを出した際はポイント付与するなどの優遇策を検討してはどうか。

金砂郷地区



- ・生ごみは水分をしっかりと切って捨てている。
- ・資源ごみを集積所に運ぶのが大変なので、古紙回収業者や金属回収業者は助かる。
- ・市からの通知を郵送ではなく、メールにすれば、封筒のごみも減るし、郵便料も削減できるのではないか。
- ・学校で子どもが使用する制服や体操服等のお譲り会が開催できるとよいのではないか。

皆さんの声
(抜粋)



水府地区



- ・燃やすごみの日に資源ごみを捨てる方や他の地域の方がごみを捨てていることがあるため、ごみ袋に名前を書いてはどうか。
- ・夏はペットボトルの量が多いため、夏はペットボトルの回収を月2回にするなど、季節によって回収の頻度を変更してはどうか。
- ・各地区毎に生ごみ処理容器・生ごみ減量化機器を導入し、まとめて処理をしてはどうか。

里美地区



- ・生ごみ処理容器は堆肥化されるまで時間がかかるため、生ごみの臭気に誘われてイノシシやアナグマにいたずらされる。
- ・町会でごみ分別に関する勉強会を行えば、ごみ分別に対する意識も高まる。市は勉強会の開催に補助を出してはどうか。
- ・集積所のバケツやかごを格納する収納庫が経年劣化し、町会で補修を行っている。資材も高騰しているため、助成金があると嬉しい。

金砂郷中の生徒が議会傍聴

12月4日と5日の一般質問を、金砂郷中学校2年生の生徒46名の皆さんが傍聴しました。

傍聴後のアンケートでは、「議会の話を聞くことは滅多にない経験なので面白かった。」「常陸太田市にもいろいろな課題があるのだと思った。」「真剣に話をしていることが知れてよかった。」「発言が許可されないと発言してはいけないことが分かった。分かりやすいように、聞きやすいように話していた。」「私たちのために話をしてくれてありがたいと思った。」などの意見が寄せられました。



行政視察にお越しいただきました



| 月 日 | 議会名 | 主な視察項目 |
|-----------|----------|------------------------------|
| 10月8日(水) | 新潟県長岡市議会 | 自動運転 EV バスの実証実験に関する調査 |
| 10月15日(水) | 北海道小樽市議会 | 自動運転 EV バス「じょっピー」、乗合タクシーについて |
| 10月16日(木) | 静岡県焼津市議会 | 自動運転 EV バス、市内公共交通の再編について |
| 10月17日(金) | 大分県臼杵市議会 | 道の駅ひたちおおた及び産品開発について |
| 11月5日(水) | 島根県松江市議会 | 自動運転 EV バス実証実験の取組について |
| 11月12日(水) | 奈良県宇陀市議会 | 住民主体の地域運営組織（地域コミュニティ）について |
| 11月14日(金) | 静岡県袋井市議会 | 常陸太田市議会業務継続計画（議会 BCP）について |



大分県臼杵市議会 建設産業委員会の皆様



島根県松江市議会 公共交通対策特別委員会の皆様

第2回議員研修会



後藤玲子教授

10月2日、全議員を対象とした第2回常陸太田市議会議員研修会を実施した。

茨城大学 人文社会科学部 法律経済学科の後藤玲子教授を講師に迎え、「日本の財政と経済を読み解く力」について講演を行っていただき、社会保障制度の受益と負担のバランスや政府財政に関する誤解など、国の財務状況や日本政府の財政状況に関する理解を深めた。

林業活性化研修会



10月21日、市議会議員全員で構成する常陸太田市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の研修会を実施した。

里川町の市有林に赴き、「第1期官民一体による持続可能な市有林整備事業」について受託事業者である常陸太田市森林組合から説明を受けた後、実際にチェーンソーや高性能林業機械を動かして間伐している様子を見学した。

市議会災害対応訓練



10月25日、常陸太田市原子力災害広域避難訓練の実施に合わせ、市議会災害対応訓練を実施した。

実際に近隣自治体で原子力災害が発生したことを想定し、市議会災害対策委員会の設置やタブレット端末を活用した安否確認などを行った。

その後、里美小・中学校で行われた避難退域時検査場所設置・運営訓練や避難所運営訓練を見学し、災害時の対応等について習熟を深めた。

新規就農者の現地視察



11月21日、全議員を対象に東連地町にある(株)ふしちゃんの農場を視察した。

東連地町の農場は約4haの土地に52棟のビニールハウスを整備し、令和6年に作付けを開始した。小松菜やほうれん草、ロメインレタス等の葉菜類の有機栽培を主に行っており、視察当日は、(株)ふしちゃんの伏田代表取締役から会社の概要や事業の内容について説明を受けた。

その後、農作物が保管されている倉庫や農作物が栽培されているビニールハウスを見学した。

3月定例会会期日程（予定）

- 3月3日（火）午前10時 開会・議案説明
- 5日（木）午前10時 一般質問
- 6日（金）午前10時 一般質問
- 9日（月）午前10時 議案質疑
- 11日（水）午前10時 総務委員会
- 12日（木）午前10時 文教民生委員会
- 13日（金）午前10時 産業建設委員会
- 17日（火）午前10時 予算特別委員会
- 18日（水）午前10時 予算特別委員会
- 23日（月）午前10時 委員長報告・採決・閉会



市ホームページ

QRコードから市ホームページにアクセスするのが簡単すぎ！



議会運営委員会

10月21日に第4回定例会の会期等について審議した。11月21日には第4回定例会の第1日の日程、議案等委員会付託、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の発言方法・時間制限について、12月2日には一般質問通告者について、12月11日には最終日の日程、追加議案等について審議を行った。



| | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 益子 慎哉 | 副委員長 | 茅根 猛 |
| 委員 | 宇野 隆子 | 委員 | 深谷 涉 |
| 〃 | 小室 信隆 | 〃 | 森山 一政 |

広報委員会

| | |
|-------|--------|
| 委員長 | 菊池 勝美 |
| 副委員長 | 森山 一政 |
| 委員 | 宇野 隆子 |
| 〃 | 成井 小太郎 |
| 〃 | 深谷 涉 |
| 〃 | 小室 信隆 |
| 鴨志田 悟 | |

今年も、市民の皆様により「議会だより」を通して議会活動の内容を分かり易くお伝えし、議会に対する理解と関心を深めて頂くため、編集委員一同努力してまいりますので、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

議会日誌

| | |
|-------|--|
| 10月2日 | 第2回市議会議員研修会 |
| 3日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） |
| 6日 | 総務委員会所管事務調査（6日～8日） |
| 8日 | 新潟県長岡市議会行政視察来市 |
| 14日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） |
| 15日 | 北海道小樽市議会行政視察来市 |
| 16日 | 政治倫理条例調査特別委員会 / 静岡県焼津市議会行政視察来市 |
| 17日 | 大分県臼杵市議会行政視察来市 |
| 20日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） |
| 21日 | 議会運営委員会 / 全員協議会 / 常陸太田市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟研修会 / 広報委員会 |
| 22日 | 文教民生委員会所管事務調査（22日～24日） / 茨城県市議会議長会理事会・定例会 |
| 25日 | 市議会災害対応訓練 |
| 27日 | 産業建設委員会所管事務調査（27日～29日） |
| 30日 | 議会報告・意見交換会（水府地区） |
| 31日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） / 議会報告・意見交換会（金砂郷地区） |
| 11月4日 | 政治倫理条例調査特別委員会 / 議会報告・意見交換会（常陸太田地区） |
| 5日 | 島根県松江市議会行政視察来市 / 議会報告・意見交換会（里美地区） |
| 7日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） |
| 12日 | 奈良県宇陀市議会行政視察来市 |
| 13日 | 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） / 文教民生委員会対話集会 |
| 14日 | 静岡県袋井市議会行政視察来市 / 茨城県市議会議長会議員研修会 |
| 20日 | 政治倫理条例調査特別委員会 / 議会改革推進会議（ハラスメント防止条例の検討 G） |
| 21日 | 議会運営委員会 / 全員協議会 / 総務委員会協議会 / 文教民生委員会協議会 / 産業建設委員会協議会 / 株式会社ふしちゃん現地視察 |
| 26日 | 全国市議会議長会第151回国会対策委員会 |
| 12月2日 | 本会議（開会・議案説明） / 議会運営委員会 |
| 4日 | 本会議（一般質問） / 金砂郷中学校2年生議会傍聴 / 政治倫理条例調査特別委員会 |
| 5日 | 本会議（一般質問） / 金砂郷中学校2年生議会傍聴 / 議会改革推進会議 |
| 8日 | 本会議（議案質疑） / 総務委員会協議会 / 文教民生委員会協議会 / 産業建設委員会協議会 |
| 9日 | 総務委員会 |
| 10日 | 文教民生委員会 |
| 11日 | 産業建設委員会 / 議会運営委員会 / 全員協議会 |
| 16日 | 本会議（委員長報告・採決・閉会） / 広報委員会 |

編集後記

議会だより第183号では、令和7年第4回市議会定例会の主な内容を掲載いたしました。

今回は、金砂郷中学校2年生・46名の皆さんが議会の一般質問を傍聴されたことや、市内4地区において開催された「議会報告・意見交換会」の概要についても掲載いたしましたのでご覧ください。

また、昨年の10月・11月に開催しました「議会報告・意見交換会」につきましては、8月5日に市議会議員が任期満了になりますので、今年は5月の頃開催したいと考えております。詳しくは後程お知らせしますので、ご参集賜りますようお願い申し上げます。